

# コミュニティ・スクール絹

小山市立絹義務教育学校 地域連携部 第40号 (令和4年1月発行)

## 開校5周年記念コンサート

絹義務教育  
学校

小山市出身のオペラ歌手(森谷真理さん)による、すばらしいコンサートが、開校5周年記念として、12月23日に開催されました。

プログラム

本フニングに、校歌をうたってくださいました。  
親しみ易い絹義務の校歌が 雅な衣装を纏った  
ような、ひとときでした。

オペラ『ルセ』より「オ・ブラ・マイ・フ」

「アヴェ・マリア」

「きよしこの夜」

オペラ『ボエム』より「私が街を歩くと」

オペラ『ばぬ』より「ドレッタの夢」



ピアニストの  
(高田絢子さん)

優しく、力強く、美しい歌声は、  
子どもたちの心を促しました。小さな  
声もよく聞こえて、高く大きな声も  
心地よく響く、本物の芸術家を、  
じっくりと堪能することができました。

開催にあたり、  
野口後援会長から、お話  
がありました。「感性が育っていくよう  
に。感性とは  
心の芯に入ってくる  
こと。心に大きく  
感じること。」

心にスッと  
入ってくる  
お話でした。



「アヴェ・マリア」  
で 涙線  
崩壊。  
体の中の涙が  
流れ出した  
感じ。



5かい年生の心にも、歌声は  
届いたようです。じっと聞き入っていました。



「心の芯のバネ」  
に、確かに刻んで  
いました。  
盛り上がったときの超高音に驚く。

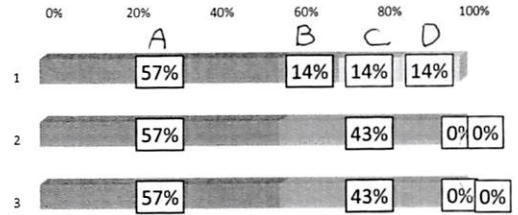
森谷さんは、最後に、  
「つらいこと、悲しいこと、何があっても、笑顔を忘れず一歩一歩、歩んでほしい」  
「今日、皆さんに会えたことを次へ進む元気のかとしたい」というメッセージをくださいました。

# 学校評価アンケート

R3年度の、絹地区の方々による  
評価は以下の通りです。

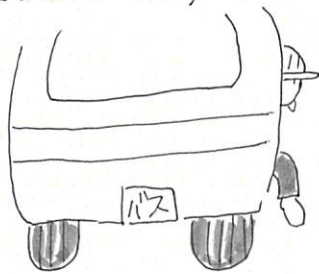
A(とてもそう思う)・B(すこしそう思う)・C(あまりそう思わない)・D(まったくそう思わない)

番号	項目	A	B	C	D
1	児童生徒は、地域で元気にあいさつをしている。	4	1	1	1
2	児童生徒は、自転車に乗るときなど、交通ルールをよく守っている。	4	3	0	0
3	学校は、地域との連携・協力などを適切に行っている。	4	3	0	0



■とてもそう思う ■少しそう思う ■あまりそう思わない ■まったくそう思わない

あいさつに関する項目の評価が気になるところです。児童生徒の自己評価では、1~6年生93%、7~9年生97%が、「あいさつを進んでいる」と答えています。ところが教職員は、「あいさつの指導をさらに充実させましょう」と、毎週のように声をかけ合っているのです。



毎朝ロータリーに立っていると、子どもたちは一人残らずあいさつをしてくれます。ただ、声の大きさはバラつきがあります。「自分から」「元気に」「大きな声で」の部分を育てるべく、絹義務の教職員はあいさつの声をかけ続けています。

## 見守りボランティア

道などで子どもを見かけたら、地域の方も、「おはよう!」「お帰り」等のお声かけをしていたただけると嬉しく思います。



3年生の社会では、「明るくゆたかな小山市」という副読本を使い授業を行っています。「くらしを守る」という単元では、警察や消防の方々だけでなく、「まちの人」も、協力して自分たちのまちを守っていることを学習します。

この安全ベストも載っています。

声をかけていただければ、お渡できます。皆様のご協力をお待ちしています。

### 小山市立絹義務教育学校

〒323-0155 小山市福良2240-1  
電話 0285(49)0141  
ファックス 0285(49)2764  
E-メール kinugimu@oyama-tcg.ed.jp

前期課程教頭

海老沼真弓